

# 神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年3月22日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6,灘3,中央3,兵庫3,  
設置定点数 48 ケ所 北8,長田3,須磨6,垂水8,西8

第11週 2017年 3月 13日 ～

2017年 3月 19日

## インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	14	23	17	10	16	12	26	47	51	216	1	3	10	13	5	10	6	10	9	8	10	36	10	20	13	10	12	15	12	3

## 小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4,灘2,中央2,兵庫2,  
設置定点数 31 ケ所 北5,長田2,須磨4,垂水5,西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症	2						2	3		7	4			2				1						
咽頭結膜熱	1						2	5		8		1		3	2		1						1	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	1	5		10			7	9	36			2	1	3	8	2	8	3	3	1	3	1	1
感染性胃腸炎	7	10	8	5	26	14	36	67	21	194	1	3	25	26	12	27	18	16	10	7	3	18	3	25
水痘			2					1	2	5							2		1	2				
手足口病	1							6		7				1	4				2					
伝染性紅斑	1									1										1				
突発性発疹	4	1	1				2	1	5	14		5	6	3										
百日咳																								
ヘルパンギーナ								2		2												2		
流行性耳下腺炎	4	1	1		2		8	3	6	25					1	6	6	4	3	2	1	2		

0歳児の劇症型溶血性レンサ球菌感染症の届出がありました。ショック症状と髄膜炎を発症しており重症で、血液および髄液からB群溶血性レンサ球菌（GBS）が検出されています。新生児GBS感染症は、生後6日以内に発症する早発型感染と、7日以降89日までの間に発症する遅発型感染に区別されます。早発型感染では出生時における産道感染が主体ですが、遅発型感染は産道感染と児に関わる周囲の人からの接触感染もあります。新生児GBS感染症を発症した場合、死亡・後遺症を残す頻度が高く、感染予防として妊娠33～37週にGBS検査を受けることが推奨されています。（医師の方へ）本疾患は5類全数報告対象なので、診断した場合は届出をお願いします。

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1,灘1,中央1,兵庫1,  
設置定点数 10 ケ所 北1,長田1,須磨1,垂水1,西2

## 眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎							1	1		2															2				

(定点機関から報告されたその他の感染症情報)

東灘区○マイコプラズマ肺炎1例:5～9歳女(6101)  
灘 区○マイコプラズマ感染症1例:5～9歳男(6202)  
中央区○アデノウイルス感染症2例:0～4歳女(6301)  
中央区○ロタウイルス腸炎1例:0～4歳男(6301)  
北 区○アデノウイルス感染症4例:0～4歳男、5～9歳男(6505)  
北 区○ロタウイルス腸炎1例:0～4歳女(6505)  
北 区○ヒトメタニューモウイルス感染症1例:0～4歳男(6505)  
北 区○病原性大腸菌(O1)感染症1例:5～9歳女(6505)  
北 区○カンピロバクター腸炎1例:5～9歳女(6505)  
垂水区○病原性大腸菌(O-18)感染症1例:年齢・性別不明(6804)  
西 区○ロタウイルス感染症2例:年齢・性別不明(6903)  
西 区○マイコプラズマ感染症3例:0～4歳男、10代男(6905)

基幹定点（市内 3ヶ所）からの報告

・インフルエンザによる入院患者:2人(70代男1人、80代男1人)  
いずれも集中治療室、人工呼吸器、頭部CT 検査等で対応しています。  
・細菌性髄膜炎:1人(0～4歳、病原体:B群レンサ球菌)  
週報(第10週)に掲載した劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者と同一

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は0人です。

【市内の感染症の状況】

- ・インフルエンザの定点あたり患者数は **4.5人**(先週 6.2人)と減少し、流行終息のめやすとなる定点あたり患者数 1.0人に近づいています。
- ・感染性胃腸炎の患者が緩やかに増加しています。感染性胃腸炎は多くのウイルスや細菌が原因になり、例年2～5月にかけてはロタウイルスが流行します。

(インフルエンザ定点機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型
175	24

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「IL」情報センター」ホームページを開設しました！詳細はこちらをクリック](#)

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター      2017年3月22日作成

## 全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 急性脳炎）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	5～9歳	2016年1月9日	2016年1月12日	2016年1月13日	インフルエンザA	臨床決定	発熱・意識障害 ・髄液細胞数の 上昇	飛沫感染 （周囲でインフル エンザの流行有）	インフルエンザ 迅速検査陽性 2016年の診断

## 全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	0～4歳	2017年3月18日	2017年3月18日	2017年3月21日	B群	分離・同定による 病原体の検出 （血液・髄液）	ショック・急性 呼吸窮迫症候群・ DIC・軟部組織炎・ 中枢神経症状	接触感染	低体重児のため 出生後より入院中

## 全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 アメーバ赤痢）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2017年3月5日	2017年3月5日	2017年3月10日	腸管アメーバ症	鏡検による病原体の検出 （大腸粘膜組織）	下痢・粘血便 しぶり腹・腹痛 発熱・右季肋部痛	不明	

## 全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	80代	不明	2017年2月20日	2017年3月13日	—	喀痰培養 薬剤耐性の確認	肺炎 呼吸不全	以前からの保菌	

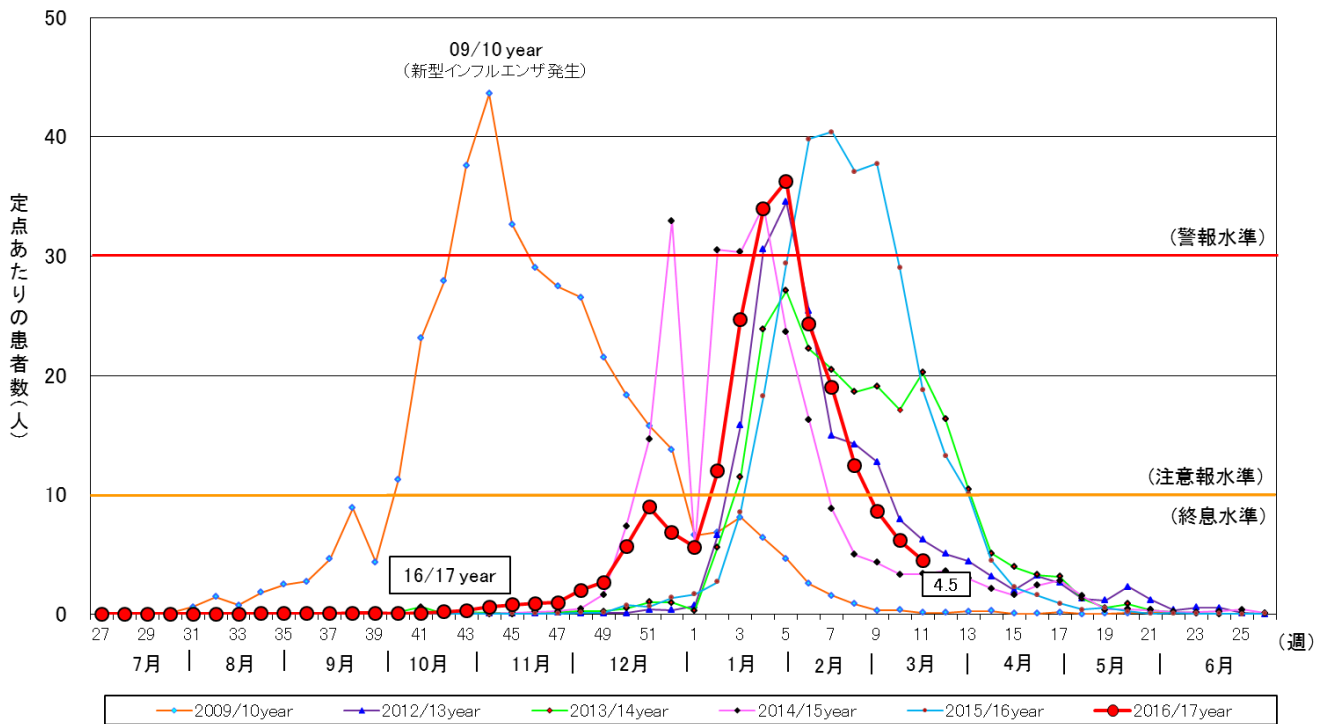
## 全数把握対象感染症発生状況（五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症）

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2017年3月7日	2017年3月8日	2017年3月9日	—	分離・同定による 病原体の検出 （血液）	発熱・咳 菌血症	不明	ワクチン接種歴 2回

# 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
アデノウイルス3型	咽頭ぬぐい液	西	3歳0ヶ月男児（2/7採取、38℃、咽頭結膜熱）
A型インフルエンザウイルス （H1pdm09亜型）	鼻腔ぬぐい液	須磨	61歳男性（3/6採取、発熱なし、インフルエンザ、ワクチン接種済み）
A型インフルエンザウイルス （H3亜型）	鼻腔ぬぐい液	須磨	3歳9ヶ月女児（2/27採取、38.5℃、インフルエンザ、ワクチン接種済み）
	鼻腔ぬぐい液	中央	9歳1ヶ月男児（2/27採取、38.5℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）
	鼻腔ぬぐい液	中央	8歳男児（2/28採取、38.0℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）
	鼻腔ぬぐい液	東灘	14歳男性（3/1採取、38.5℃、インフルエンザ、ワクチン接種歴不明）
B型インフルエンザウイルス （山形系統）	鼻腔ぬぐい液	中央	38歳4ヶ月男性（3/3採取、38℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）
	鼻腔ぬぐい液	中央	2歳0ヶ月女児（3/8採取、40℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）、家族内発生
B型インフルエンザウイルス （ビクトリア系統）	鼻腔ぬぐい液	須磨	15歳男性（3/10採取、38℃、インフルエンザ、ワクチン未接種）
淋菌	尿道擦過物 ／分泌物	兵庫	37歳男（3/6採取、淋菌感染症） 検出菌の薬剤感受性試験：PCG（中間感受性）、CFIX・CTRX・AZM（感受性）
肺炎球菌 血清型23B	分離菌株	中央	4歳男児（40℃、菌血症） 接種歴のある13価ワクチンには含まれない血清型である
百日咳菌	鼻腔ぬぐい液	東灘	0歳男（3/8採取、百日咳） LAMP法陽性    培養法は分離できず

# 定点あたりのインフルエンザ患者報告数



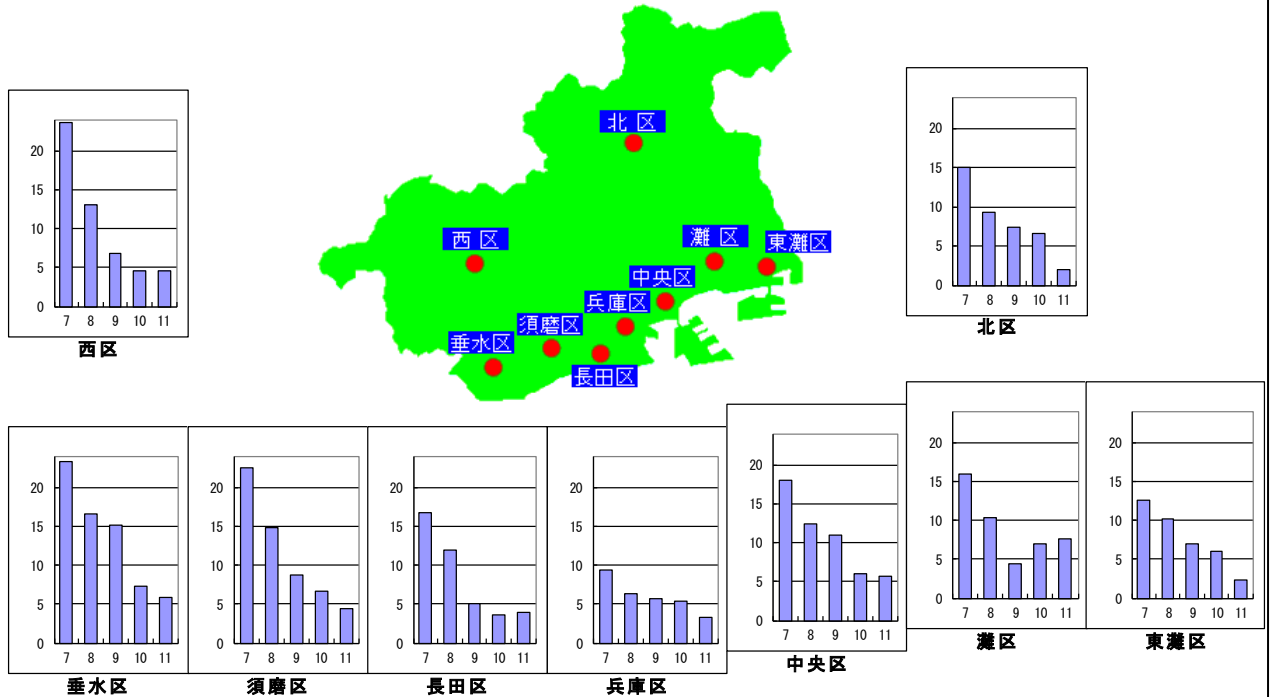
## 疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 7 週 平成29年2月13日

～

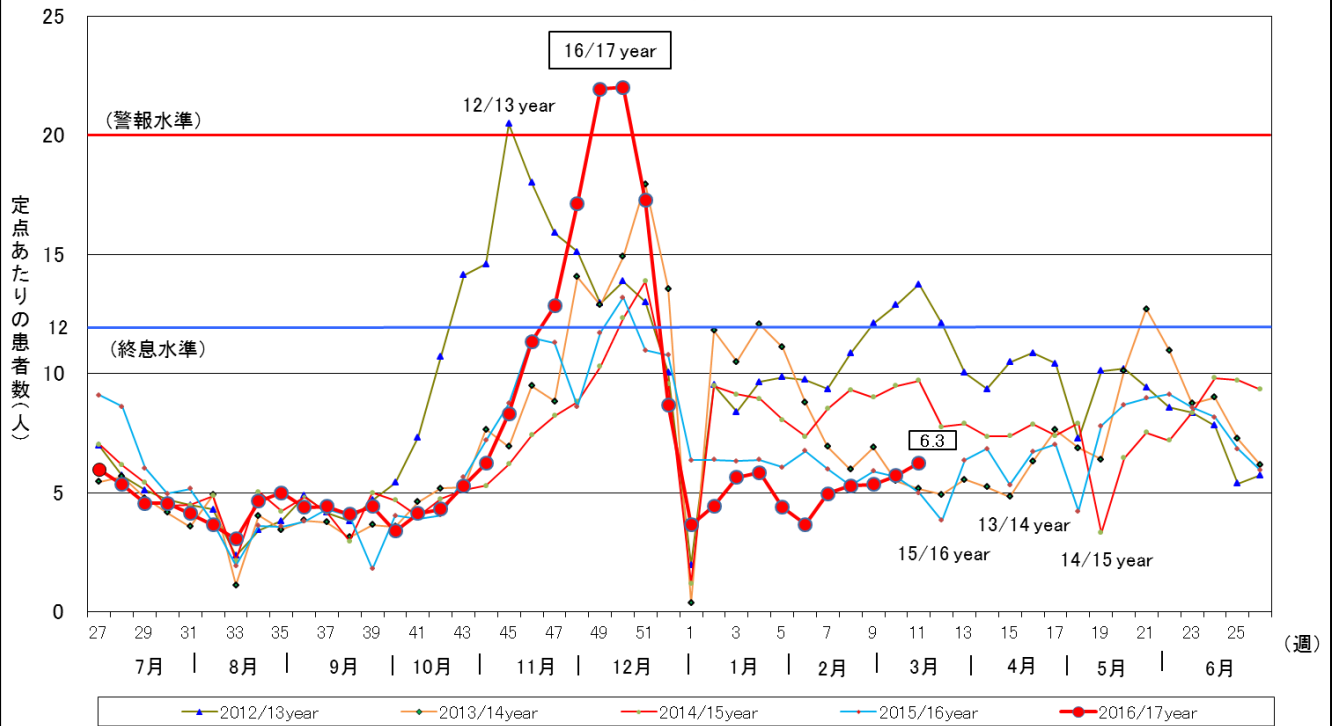
第 11 週 平成29年3月19日

### インフルエンザ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



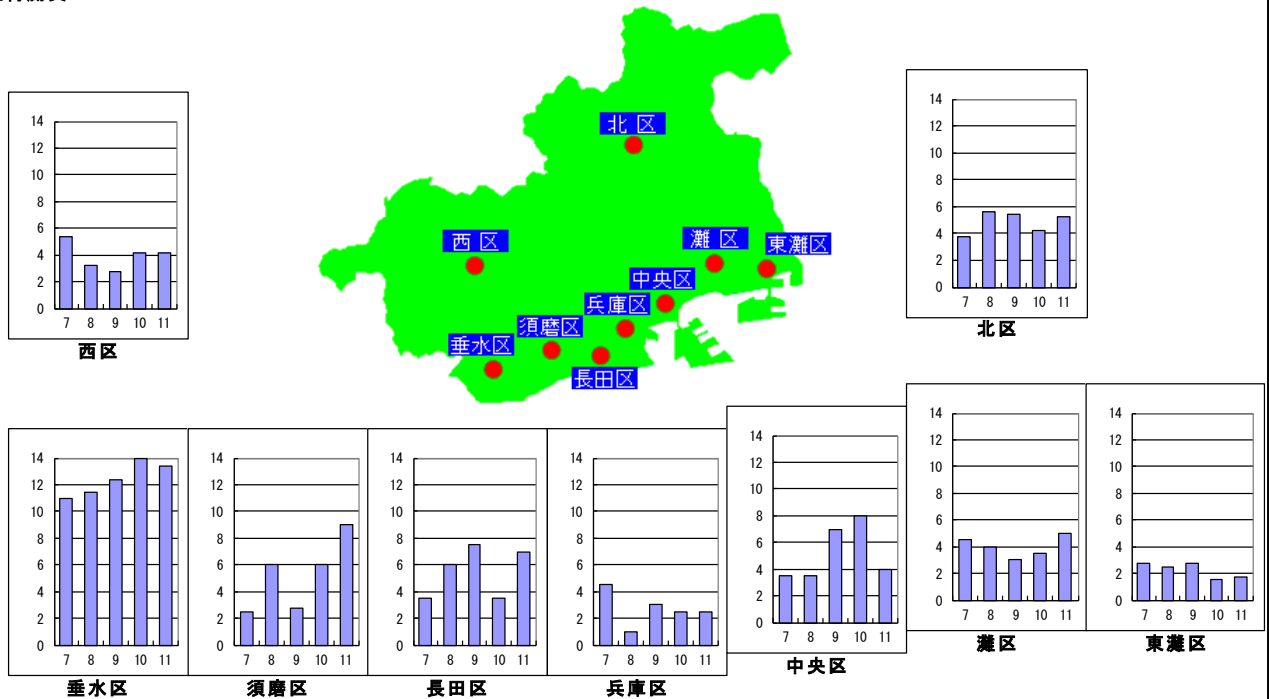
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 7 週 平成29年2月13日

～

第 11 週 平成29年3月19日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

Figure 1: Monthly trend of the number of patients per 100,000 people by year.

The graph displays the monthly trend of the number of patients per 100,000 people for the years 2010, 2014, 2015, 2016, and 2017. The Y-axis represents the number of patients per 100,000 people, ranging from 0 to 4. The X-axis represents the months from January to December. Two horizontal reference lines are shown: the '終息水準' (End Level) at 2.0 and the '注意報水準' (Alert Level) at 3.0. The 2017 data shows a significant peak in October, exceeding the alert level.

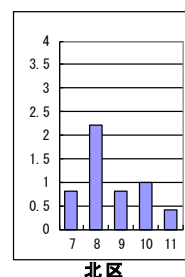
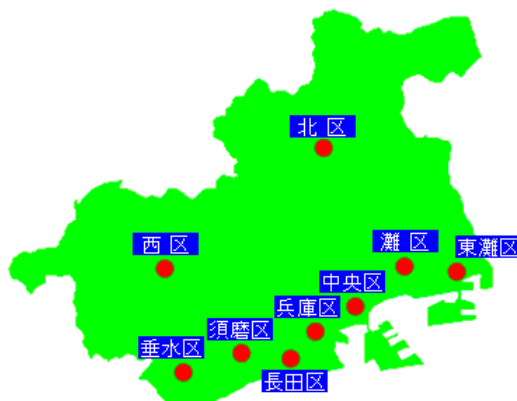
Legend:

- 2010 year (Orange line with diamond markers)
- 2014 year (Purple line with square markers)
- 2015 year (Pink line with triangle markers)
- 2016 year (Blue line with circle markers)
- 2017 year (Red line with circle markers)

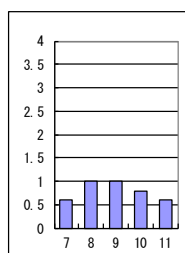
第 11 週 平成29年3月19日

Day	Number of People
7	0.8
8	1.4
9	2.2
10	0.6
11	1.2

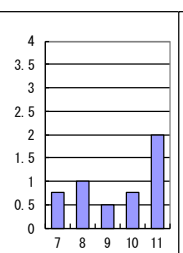
西区



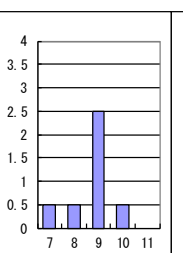
北区



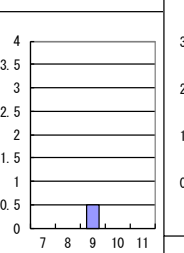
### 垂水区



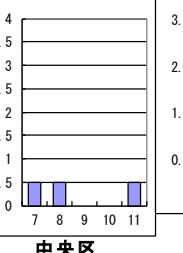
**須磨区**



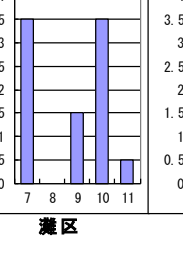
**長田区**



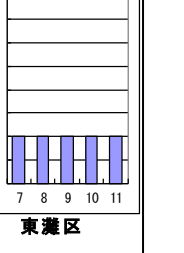
**兵庫区**



**中央区**



**灘区**



**東灘区**

※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。